



江東区議会議員

鈴木あやこ



12
December
2016
Vol.44

鈴木あやこのプロフィール

1975年2月18日生まれ。成城大学卒業後、(株)NTTドコモ勤務。猿江、潮見の居住を経て、豊洲在住。働く若い世代を代弁する女性議員が不在、という江東区議会の構成に問題意識を持ち、在職中に早稲田大学大学院で政策を学び、2011年江東区議会議員に初当選。待機児童問題、子育て・介護など、ワーク・ライフ・バランス政策に注力。インターネットによる情報発信や、対話型の区政報告会「あやこcafé」の毎月実施など、「区政の見える化」を推進。

2015年 江東区議会議員選挙にて2期目の当選。

★所属委員会（2016年度）

- 建設委員会 / 防災・まちづくり対策特別委員会
- 江東区健康スポーツ公社評議員

★マニフェスト大賞 副実行委員長

★趣味：料理・まち歩き・水辺歩き

鈴木あやこホームページ（PC版）

<http://www.suzukiayako.com>

鈴木あやこホームページ（携帯版）

<http://www.suzukiayako.mymp.jp>

Facebook（鈴木 綾子）

<https://www.facebook.com/suzukiayako2011>

Twitter

@ayako_suzuki

活動報告

豊洲ワールドフェスティバル（10月24日） 江東湾岸まつり・豊洲マラソン（11月13日）

秋は、豊洲の街でもイベントが目白押し。「豊洲ワールドフェスティバル」は、町会など地域の皆さん、企業、学校をはじめ、国内外各地の方々がワールドバザールやステージ、ハロウィンパレードに参加し、大盛況。私は豊洲商友会の皆さんと一緒に、「豊洲はちみつエール」の販売のお手伝いをしました。

「豊洲マラソン」は今年は江東湾岸まつりと同時開催。開会式のご挨拶やお手伝いなどさせていただきました。豊洲のまちを元気にするイベント。応援しています！



活動報告

水陸両用バス「スカイダック横浜」視察（11月13日）

横浜で10月から運行が開始された水陸両用バス「スカイダック横浜」に視察乗船。横浜赤レンガ倉庫から出発し、陸上から横浜みなとみらいの景色を楽しみ、そのまま海からの美しい景色を満喫するコース。豊洲市場の開場延期により、豊洲ぐるり公園の開園も延期になっていますが、すでに豊洲6丁目には水陸両用バスのスロープができており、旧中川川の駅に続く、水陸両用バスの開業も待たれているところ。江東区の水辺の賑わいづくりにもしっかり活かしていきます。



鈴木あやこ区政報告座談会「あやこcafé」開催案内

江東区のまちづくりについて、みなさまとざっくばらんに対話する区政報告座談会「あやこcafé」最新のまちづくりの話題や議会活動のお話を中心。お気軽にお越しください！

第66回：平成28年12月21日（水）19:00～20:30 豊洲文化センター 第3研修室（江東区豊洲2-2-18）



鈴木あやこの議会質問（平成28年10月）平成27年度決算審査特別委員会「選挙関連事業について」

(1) 18歳選挙権の実施に伴う江東区選管の評価について

質問 今回の参議院選挙から70年ぶりに投票権年齢が引き下げられ、18歳選挙権が国政選挙ではじめて適用された。

参議院選挙の18歳・19歳の投票率では、江東区においては18歳の投票率が63.10%、19歳が54.26%、18歳、19歳の投票率が58.57%だった。都知事選挙においても18歳が50.03%、19歳が42.53%と引き続き、20代の投票率38.17%を上回ったことは、今後の若年層の低投票率に歯止めがかかる傾向が出てきたと期待するところである。今回の18歳選挙権の実施を振り返り、選挙管理委員会としてどのように評価しているのか。

答弁 これまで、選挙管理委員会では、若者世代が選挙や政治の関心を高めるきっかけづくりとして、小中学校に対し、選挙啓発ポスターコンクールの実施や20代の投票立会人（今回から18・19歳も対象）の実施を行ってきた。

平成24年度から小中学校を対象に選挙出前授業・模擬選挙を行ってきたが、27年度は選挙権年齢の引き下げも見据え、高校も対象とし、区内の全ての公立・私立高校11校に開催案内を送付し、7校で1,116名の生徒が参加して選挙出前授業・模擬選挙を実施した。

18・19歳が、20代の投票率を上回る結果となることは、これまでの若年層向けの啓発活動、特に出前授業、模擬選挙が一定の効果があったものと評価している。今後も若年層の投票率の向上に向け、選挙出前授業、模擬選挙の着実な実施に努めていく考えである。

(2) 武蔵野大学との連携事業における取組について

質問 武蔵野大学と選挙管理委員会の連携事業の取組みについて伺う。

答弁 武蔵野大学との連携事業は、学生自身が発信する啓発活動を実施し、若者層の投票率向上を目指すことを目的に実施しており、成人式での啓発事業の企画運営や出前授業での講師、投票行動に関するアンケート調査などを実施してきた。今若年層の投票率の向上は大きな課題であり、出前授業で接点ができる18歳の高校生だけでなく、高校卒業後の19・20歳の若者へのアプローチについても連携授業の中で検討し、その過程で出てきた学生の柔軟なアイデアも積極的に取り入れ、若年層の啓発活動に取り組んでいく考えである。



第11回マニフェスト大賞を受賞しました～「Woman Shift」「避難者カード標準化プロジェクト」～

地方議員、議員や地域主権を支える市民の優秀な政策や取組を募集、表彰し、善政競争を競い合う場である第11回「マニフェスト大賞」授賞式が11月11日に開催されました。鈴木あやこは、事務局をつとめている「Woman Shift」の取組で審査員特別賞（筋内道彦賞）、メンバーとして参画している「避難者カード標準化プロジェクト」政策提言賞を受賞しました。個人として受賞した2013年に続いて、以来2度目の受賞となります。

Woman Shiftは、「地方議員を女性の職業の選択肢とする」「政策が実現できる女性議員を増やす」ことを目的として、主に20代、30代の女性議員が中心となり、月一回の勉強会を開くなど、活動している団体。

(メンバー:本目さよ台東区議(代表)、上田由紀子文京区議、田畑直子千葉市議、田添麻友目黒区議、中村延子中野区議、鈴木綾子)写真左

授賞式の後の11月14日には、千葉市を訪問。ICTを活用してまちの課題を解決する「ちばレポ」の視察と、同世代の若手の市長としてICT政策や、財政再建などに取り組んでいる熊谷俊人市長との意見交換。(写真中)

「避難者カード標準化プロジェクト」は災害発生時に被災者、特に要介護者や障害者、妊産婦となる要支援者の方々が、良好な環境で支援生活を送れるようにするため、避難所で使用する「避難者カード」の内容の充実と、全国での書式標準化を推進するためのプロジェクトです。(代表:関根ジロー松戸市議)(写真右)

いずれも、党派を超え、同じ思いを持った議員が連携することで、より良い社会をつくるための取り組みです。取り組みの成果を、江東区のまちづくりにもしっかりと活かしていきます。



Woman Shift



千葉市訪問



避難者カード標準化プロジェクト

江東区議会開催報告・次回臨時会・定例会の開催予定について 江東区議会 平成28年第2回定例会は、9月23日～10月24日までの会期で開催されました。今回は平成27年度の決算審査特別委員会も合わせて開催され、審査の結果決算認定されました。次回の江東区議会第4回定例会は、11月29日～12月15日まで開催予定。11月29日には、鈴木あやこは一般質問を行いました。質問の内容などは、次号のレポートなどでご報告いたします。